

優秀賞



設計者

篠崎 淳

東京建築士会、(株)竹中工務店 東京本店 設計部

共同住宅(併用および専用)

神奈川県川崎市中原区

GATE SQUARE 小杉陣屋町

THE KAHALA 小杉陣屋町
THE RESIDENCE 小杉陣屋町

構造・階数	敷地面積	建築面積	延床面積	竣工
鉄筋コンクリート造 地上5階	2,987.20㎡ 2,973.25㎡	1,379.46㎡ 1,722.71㎡	5,404.47㎡ 6,490.11㎡	平成27年6月12日 7月17日



A



B



C

- A THE KAHALA 南西外観・広場
- B THE KAHALA 西外観エントランスより中庭を望む
- C 代々受け継がれた中原街道沿いの陣屋門からギャラリーを望む
- D THE KAHALA 中庭
- E THE KAHALA エントランスホール
- F THE RESIDENCE 南外観と中庭

写真撮影...勝田尚哉

選評

歴史の部厚さにおいて、関東は関西と比較して薄く敵いようが無い。ブルーノ・タウトが実にシンプルに将軍の文化天皇のそれと要約した如くである。

この建築が建つ陣屋町も地名通りに江戸時代以降の武家文化の派出所のような土地の歴史を持つ。日本の共同住宅の歴史もまた武家文化を核とする官主導の公営住宅が一つのモデルとしてあり続けてきた。それは武骨極まる非デザインの世界でもあった。この民の手になる共同住宅は都市に対して充分に発言し得るスケールを所有しているが、そのスケールを同時に考えてみても、近來の日本の共同住宅の歴史に画期である。何処が画期な

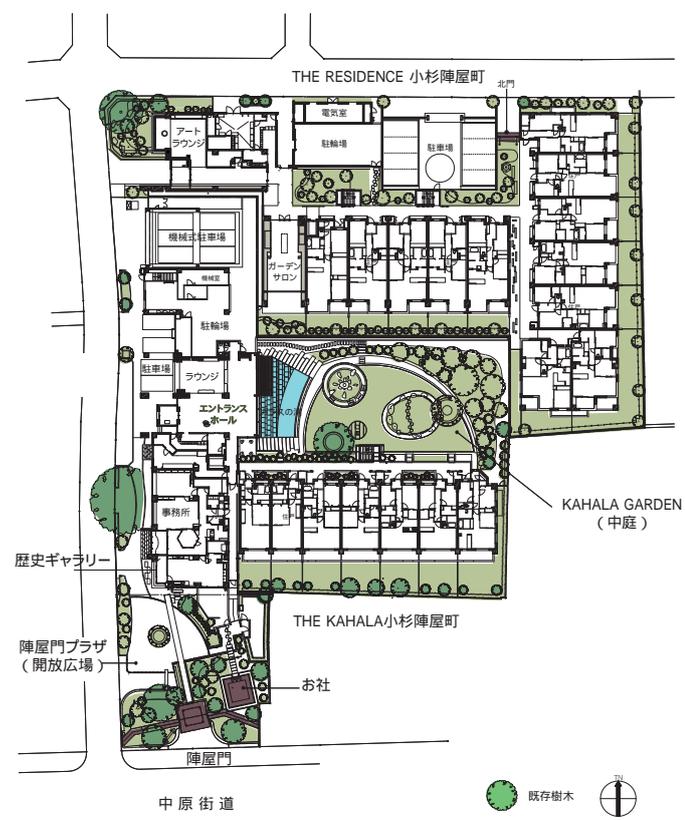
のかをデザインからのみ言うことは困難である。まさに設計施工なるこれもまた、日本独自の近代的総合性から生み出されたといふ言い様がない。

その価値の核は22m x 50m 周囲5層の建築的中庭に集約されている。資本主義が完徹した現代都市に良くこの非商業的空間を実現した。設計者たちの経験の積み重ねからであろう。子供たちが遊び戯れるといふ俗な風景は無いが、それ故にここには光、風、静けさの言いの総合がある。村野藤吾の経験主義を超える合理性との豹変である。

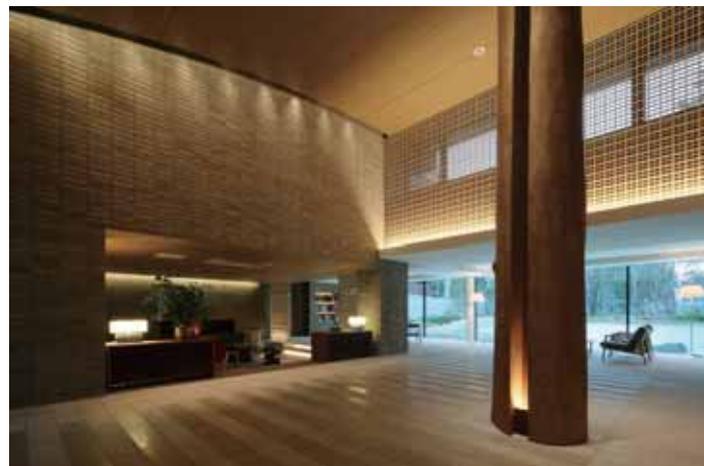
(石山修武)



D



配置図兼1階平面図



E



F